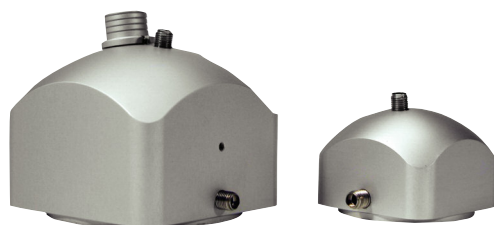


積分球とコサイン コレクタ

Integrating Spheres and Cosine Corrector



反射率と放射照度積分球

ここで示す積分球とコサイン コレクタは、OSMおよびISシリーズ（P1327を参照）のミニモノスペクトロメータとともに使用します。Oriel光源、モノクロメータ、ディテクタに直結するフランジ付き積分球については、P1354を参照してください。

積分球

反射率積分球は表面の全積分反射率を測定します。反射率積分球には2つのSMAコネクタが装着されています。1つは光源に対して90°（スペクトロメータ接続用）に装着されており もうひとつは試料に対して8°に装着されています。

放射照度の測定（例：ランプまたはLEDの特性評価）には、放射照度積分球を使用します。放射照度積分球はコサインコレクタと同じ動作をしますが、光源から直接受光する放射照度の測定を対象に設計されています。180°の放射照度（例：室内用照明器具）を測定する場合は、コサインコレクタを使用します。

積分球の仕様

	SPH-IRR-12.5	SPH-REFL-30	SPH-REFL-50
測定タイプ	放射照度	反射率	反射率
内径	12.5 mm	30 mm	50 mm
ハウジング寸法	25 x 25 x 22 mm	50 x 50 x 45 mm	68 x 68 x 58 mm
試料ポート径	5 mm	7 mm	10 mm
接続	SMA コネクタ × 1 配置 90°	SMA コネクタ × 2 配置 90°および 8°	SMA コネクタ × 2 配置 90°および 8°
スペクトル領域	200~2400 nm	200~2400 nm	200~2400 nm
反射率	95%	95%	95%
スループット (400 μm ファイバ使用の場合)		78.27	30.11




CRP-IRRコサインコレクタ

コサインコレクタ

広い範囲に拡散する光源の放射照度を測定するには、コサインコレクタを使用します。CRP IRRは180°の立体角放射を集光します。CRP IRRは任意のSMA終端のファイバに直結されます。CRP IRRは、200~1100 nmで使用可能なPTFE拡散体を使用します。PTFE拡散体は、外径バレル寸法が6.35 mmです。

発注のご案内

モデル	仕様	Price
CRP-IRR	コサインコレクタ	¥31,400

 詳細は当社のWebサイトを参照してください。